

具員 研修ポイント充実

用談 社相 福専

ふくせん、制度見直し見据え計画
スーパージョー養成研修も

全国福祉用具専門相談員協会(ふくせん)は2014年度、15年度介護保険制度見直しに向けて「研修ポイント制度」充実や、福祉用具サービス計画作成を指導できるスーパージョー養成研修などを計画している。

同協会は、指定基準に専門相談員の知識修得・能力向上を求める努力義務規定が追加される可能性を見据え、13年10月スタートした研修ポイント制度で専門相談員のスキルアップを担保する考え。検討委員会を設けて制度実施状況などを検証、充実策を検討する。

スーパージョー養成研修は東京、大阪で開催。専門相談員指定講習カリキュラム見直しに伴い、厚生労働省に「福祉用具サービス計画」の講義を担当する講師として活用を提案していく方針だ。

同省の13年度補助事業で計画作成ガイドラインを開発。ガイドラインに基づき指導できる人材養成を目指しており、スーパージョーには地域や職域で計画作成などを指導する役割も期待している。修了者の氏名や所属などは同会ホームページで公表するという。

ガイドラインはテキストとして発刊し、現任専門相談員の計画作成をバックアップ。スーパージョー養成研修主教材として使用するほか、指定講習副教材に活用してもらえよう働きかけていく。

介護福祉士国試

合格率3年連続
上昇し64・6%

厚生労働省は、第26

回介護福祉士国家試験合格者を発表した。合格率は3年連続上昇、前回は0・2%増の64・6%となった。

1万8015人増の15万4390人が受験し、1万1892人増の9万9689人が合格。本道受験地分合格者は852人増の5012人だった。

そのほか、国試合格率等は次の通り。①受験者数②合格者数③合格率④本道受験地分合格者数。カッコ内は前回比

【看護師】①5万8891人(2361人増)②5万2900人(2676人増)③89・8%(1・0%増)④2653人(117人減)
【保健師】①1万7308人(888人増)②1万4970人(794人減)③86・5%(9・5%減)④754人(66人減)